



丸子中央病院  
MARUKO CENTRAL HOSPITAL

病院概要  
2021年度版



# 丸子中央病院の理念

本院は、質の高い医療の提供を通じて、地域のしあわせ創りに貢献します。

## 丸子中央病院の方針

1. 患者さんの権利の尊重と療養環境の充実
2. 医療従事者の育成とチーム医療の推進
3. 健全な病院経営
4. 地域おこしへの貢献

## 丸子中央病院職員の倫理規定

1. 職員はすべての患者さんに対して常に平等に、温かく接しなければならない。
2. 職員は、患者さんに十分な情報を提供したうえで、患者さんの知る権利、自己決定の権利を尊重しなければならない。
3. 職員は守秘義務を厳守し、個人情報の保護に努めなければならない。
4. 職員は、自己研鑽に努め、医学の進歩と発展に貢献し、安全で信頼される医療の提供に努めなければならない。
5. 職員は、医療法人丸山会丸子中央病院職員としての自覚を持ち、お互いを尊重し、協力して病院の健全な運営に努めなければならない。

## 丸子中央病院患者さんの権利憲章

丸子中央病院は、患者さんの利益を守るためにこの権利憲章を制定します。

本院の職員は、この権利憲章を守り、患者さんの医療への主体的な参加を支援いたします。

1. 患者さんは、人としての尊厳を尊重される権利があります。
2. 患者さんは、平等な医療を受ける権利があります。
3. 患者さんは、納得できるまで説明を受ける権利があります。
4. 患者さんは、診療録の開示を求める権利があります。
5. 患者さんは、自ら受ける医療を選択し、あるいは拒否する権利があります。
6. 患者さんは、担当医以外の医師の考え（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
7. 患者さんは、プライバシーを守られる権利があります。



丸子中央病院  
MARUKO CENTRAL HOSPITAL

### 丸子中央病院 シンボルマーク

丸子中央病院に携わるひとりひとりが地域の皆さまのニーズに柔軟にお応えしていく姿勢・情熱を、躍動感のある赤色の楕円をベースにしたデザインで表現しています。地域の発展を医療・福祉から支え、地域と共に成長しつづける思いを楕円の中央上の円でシンボリックに表しています。人と人が支え合うイメージを丸子中央病院のアルファベット頭文字の「M」に見立てています。



特定医療法人 丸山会  
理事長 丸山 和敏

## 地域と共に歩む病院を目指して

2019年に始まった新型コロナウイルス感染症の猛威は一年を過ぎても未だに終息の見通しさえ見えない状況です。この間、当法人は感染者に対応するため、駐車場に発熱者専用診察室を設置しました。同時に関係機関の協力を得て2020年5月よりPCR検査体制を整え、積極的に発熱者の診療にあたりました。また従来は一日以上かかっていたPCR検査結果を短縮するために、同年秋からは院内でPCR検査機器を導入し、即日検査結果が出るようにして感染者の診療を続けております。

当院は丸山大司が昭和34年に小県郡丸子町上丸子（現上田市上丸子）に丸山医院を開業したことに端を発します。昭和40年に丸子中央病院となり、その後4期の増築工事を経て昭和60年には総合病院の認可を受け330床の「丸子中央総合病院」に名称変更しました。

丸山医院開業から60年が経過し、超高齢化など社会構造の大きな変化によって地域や医療の在り方が大きく変わりました。その変化に対応するために平成25年8月、上田市丸山に新築移転しました。同時に新病院の名称を「丸子中央病院」に戻し、開業当時の原点に立ち返り地域に根ざした病院を目標に再スタートしました。療養環境も大事な治療と考える廊下と病室はゆとりあるスペースを確保し、大きな窓を配置した病棟の食堂からは浅間山、烏帽子岳を望めます。健診部門は9階に配置し、ホテルのようなゆったりとした空間を目指しました。ドック専用ラウンジでは病院

専属の山田康司シェフによる料理を提供し、多くのドック受診者の皆様より好評を頂戴しております。

医療の質を高めるため、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価3rdG:Ver.2.0の認定を受けました。また医療従事者を対象としたAHA（アメリカ心臓協会）公認「BLS/ACLSコース」を定期開催しており、当院職員の90%以上が受講しています。また、一般の方を対象とした心肺蘇生法の普及活動「PUSHプロジェクト」も実施し、地域の救命率向上に取り組んでいます。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの活動は休止していますが、それまでは院内で各種イベントを開催しておりました。このような状況下でもオンラインでの市民公開講座やYouTubeを使って医療情報の提供を続けております。また株式会社ツルヤ様と共同で山田康司シェフによる栄養のバランスを考えた、体に優しい美味しいレシピ「いきいきレシピ」をご家庭にお届けしています。

開院から60年以上が経過し、地域に即した医療・介護サービスは勿論、それ以外の分野でも当法人の理念である「地域のしあわせ創り」に全力で取り組んでまいりますので引き続き御支援、御協力をお願い申し上げます。

## 地域のしあわせ創りを目指す病院

丸子中央病院の職員である私たちは「高度の医療を通じて地域のしあわせ創りに貢献する」との当院の「理念」を非常に大切に思い、その理念に少しでも近づけるように努力してきました。診療レベルやスタッフの練度は様々な領域で確実に向上していると実感しています。

さて病院職員はこの1年、寝ても覚めてもコロナ、コロナで明け暮れ、それに伴って診療や介護サービスも日々新たな対応を迫られました。

昨年2月末、感染症外来にて新型コロナウイルスに関する診療と検体採取を開始しました。4月7日（火）に最初の緊急事態宣言が出された機会に、職員と患者さんの安全を考慮し、病院に接した駐車場に新型コロナウイルス感染症患者さんの診療を行うための発熱外来の整備を進めました。レントゲン診断装置、安全キャビネットなどを設置し、PCR検査装置を2台導入して、4月21日（火）より診療を開始しました。以来、PCR検査だけで4,000件を超えようとしています。上田地区の新型コロナウイルス患者さんの数も日ごとに変化し、その都度発熱外来を訪れる患者さんの数もめまぐるしく変動しましたが、今まで無事乗り切ることができました。地域の方々からも「丸子中央病院があって安心だ」とのお言葉を頂戴しており、地域へ大いに貢献できているのではないかと考えています。専門外来を担当した医師、看護師を始めとした病院職員、応援していただいた市民の皆様にも深く感謝いたします。

なお、昨年末から新型コロナウイルスに感染した患者さんの入

院を受け入れるべく陰圧室などの整備を進め、現在準備は整っています。

病院の運営に今ほど柔軟な発想力が求められる時代は、ここ半世紀間無かったといえるでしょう。当院は私立病院ですので、公的病院に比較すると経済的に厳しい立場におかれていることはいうまでもありません。その一方、経営判断は迅速に行われ、理事長の決断があれば決断当日でも実施できますから、今回のような緊急事態への対応は公的病院と比較するとはるかに速く、今回はそのアドバンテージがより明確になったと思います。

今回の危機を経験して、病院にもっとも必要なものは、高い基礎的な能力を持ち、新たな事態に柔軟に対応できる人材であり、設備でも資材でもないことを改めて痛感しました。そして、当院ではそのような人材が、医療系、介護系、事務系を通じて確実に育っています。我々病院職員は、我々が担当する医療・介護も「地域のしあわせ創り」の一環と考えており、「地域のしあわせ度」が上昇するならば何でもしようというのが当院のスタンスです。その意味では、昨年設置した「医療と介護の総合相談ステーション」は地域の皆様の不安を取り除くのに大いに貢献していると評価していただいていますし、「発熱外来」もこのような視点で、より充実するよう努力を続けます。

今後とも、地域とともに生きる「町民立病院」として、地域の皆様と歩むつもりです。よろしくご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

# 沿革

- 昭和 34 年 丸山大司、小県郡丸子町に丸山医院開業
- 昭和 40 年 「医療法人丸山会 丸子中央病院」に新築移転  
61 床、5つの診療科を設置（第 1 期新築工事）
- 昭和 41 年 救急指定病院の認定を受ける
- 昭和 42 年 85 床に増床（第 2 期新築工事）
- 昭和 44 年 151 床に増床（第 3 期新築工事）
- 昭和 46 年 人工透析を開始
- 昭和 47 年 更生医療機関に指定  
特定医療法人に認定
- 昭和 53 年 病床数 267 床へ増床（第 4 期新築工事）
- 昭和 60 年 総合病院の認可を受け「丸子中央総合病院」となる
- 昭和 61 年 330 床に増床  
上田透析クリニック開設
- 平成 8 年 「そよ風訪問看護ステーション」開設
- 平成 10 年 丸山和敏、第二代病院長に就任
- 平成 15 年 丸山大司理事長が丸山会 会長に就任  
丸山和敏が理事長・院長を併任
- 平成 25 年 勝山努、第三代病院長就任  
旧カネボウ丸子工場跡地へ新築移転 297 床  
「丸子中央病院」に改称
- 平成 27 年 公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG : Ver.1.0 認定取得  
財団法人日本病院会日本人間ドック学会による人間ドック・健診施設機能評価認定取得
- 平成 28 年 地域包括ケア病棟開設  
介護療養型医療施設に愛称「ケアあおぞら」と命名
- 平成 29 年 企業主導型保育園「あったかステーション わくわく」開設
- 平成 30 年 D P C 対象病院として包括請求業務を開始  
丸子中央病院介護医療院「ケアあおぞら」を開設（許可病床数 200 床）  
長野県発達障がい診療地域連携病院として始動
- 平成 31 年 「病児保育センター」・「医療と介護の相談ステーション」開設
- 令和 2 年 発熱外来を設置 院内 PCR 検査開始  
中華人民共和国大駐日本国大使館 PCR 検査機関に指定

## 地域と共に歩んできた 丸子中央病院の道のり



名 称 特定医療法人丸山会 丸子中央病院  
 開 設 者 理事長 丸山和敏  
 所 在 地 〒386-0405  
 長野県上田市丸山 1 7 7 1 - 1  
 電 話 0268-42-1111 (代表)  
 F A X 0268-42-1112 (代表)  
 敷地面積 27,561 m<sup>2</sup>  
 建築延面積 20,297 m<sup>2</sup>  
 建 物 地上 9 階建 耐火鉄骨造り

(2021年4月1日現在)



急性期から在宅までの  
 継続的な医療・介護の提供  
 法人内で連携を持ち、患者さん・利用者さん  
 一人一人を継続的に支援しています

## 丸子中央病院



### 一般病棟 (99床)

急な病気になった場合、手術をする場合などにまず入院するのが一般病棟です。病状が最も重い時期、あるいは不安定な時期の治療を行う病棟です。

### 地域包括ケア病棟 (50床)

病状が回復に向かっても、状況が入院前と異なる場合は、家に帰る準備が必要です。リハビリテーションを行ったり、社会資源の活用等の調整を行い、安心して退院後の生活に移れるよう支援します。

### 医療療養病棟 (50床)

病状が安定しても、長期間にわたる医療処置が必要な方が入院する病棟です。処置などをしながら退院して自宅で過ごすことを目指します。



### 介護医療院

「ケアあおぞら」(定員:97名)

病状が安定したものの家での生活が難しく、長期療養が必要な方に御利用いただく施設です。生活の場としての機能を持ちあわせており、居住性に配慮した施設で状態に応じて自立した日常生活を支援いたします。



### そよ風訪問看護ステーション

医師・看護師・リハビリテーションスタッフがチームとなり、病院退院後の在宅療養に必要な看護や介護のお手伝いをいたします。



### 発達外来

長野県から委託を受け2018年より上小圏域の発達障がい診療地域連携病院として始動しました。地域で医療及び療育的支援を受けやすくするため、関係職種との知識・技術の向上なども担っています。医師・看護師・作業療法士・言語聴覚士・公認心理士など多職種でお子さんにとってより良い支援につながるようサポートしています。



### ひまわり会

院内ボランティア「ひまわり会」が外来で患者さんをアテンドします。丸山医院開院当初から働いていたOB・OGが所属しており、受診までの間、安心して過ごすことができます。

## 丸山会関連施設

### 介護老人保健施設

- |     |            |           |                      |                 |
|-----|------------|-----------|----------------------|-----------------|
| 長野県 | ■ 御所苑      | 〒386-0033 | 長野県上田市御所 666         | 電話 0268-22-2222 |
| 上田市 | ■ ケアまるこ    | 〒386-0404 | 長野県上田市上丸子 331-13     | 電話 0268-42-1110 |
| 埼玉県 | ■ ケア大宮 花の丘 | 〒331-0045 | 埼玉県さいたま市西区内野本郷 975-5 | 電話 048-620-2400 |
| 東京都 | ■ ケア新小岩    | 〒124-0023 | 東京都葛飾区東新小岩 2-1-12    | 電話 03-5671-6003 |
|     | ■ ケア東久留米   | 〒203-0052 | 東京都東久留米市幸町 3-11-10   | 電話 042-479-2600 |

### 診療所

- |                |           |              |                 |
|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| ■ 上田透析クリニック    | 〒386-0033 | 長野県上田市御所 674 | 電話 0268-27-3006 |
| (血液透析モニター 48台) |           |              |                 |

## 丸子中央病院概要

### 2020年度 病床利用率・平均在院日数

	許可病床数	稼働病床数	病床利用率(%)	平均在院日数(日)
一般病床	99	99	88.4	16
地域包括ケア病棟	50	50	92.8	
医療療養病床	50	50	91.2	

介護医療院 定員97名

### 2020年度実績

新入院患者数	2,660名	救急患者数	6,465名 (うち入院 1,069名)
延入院患者数	66,606名 (1日平均 182.5名)	救急車搬送数	1,125名
		紹介患者数	4,665名
延外来患者数	112,093名 (1日平均 307.1名)	紹介率	38.3%
初診患者数	10,055名	逆紹介数	4,568名
		逆紹介率	58.2%

職員数 576.3名 (常勤 478名、非常勤 98.3名 (常勤換算)) (2021年5月現在)

	職種総数	常勤職員数	非常勤(常勤換算)
医師	29.2	22	7.20
歯科医師	2	2	0
看護要員 合計	231.3	178	53.3
保健師	6.3	5	1.3
看護師	136.6	105	31.6
准看護師	77.4	64	13.4
看護補助者	11.0	4	7.0
薬剤師	13.3	12	1.3
臨床検査技師	17.2	10	7.2
診療放射線技師	11	11	0
管理栄養士	6.5	6	0.5

	職種総数	常勤職員数	非常勤(常勤換算)
リハビリ部門 合計	48.2	46	2.2
理学療法士	31.3	30	1.3
作業療法士	11.8	11	0.8
言語聴覚士	5.1	5	0.1
診療情報管理士	3	3	0
臨床工学技士	14	14	0
医療ソーシャルワーカー	6	6	0
介護支援専門員	6	6	0
介護福祉士・介護職員	83.3	75	8.3
事務部門	71.4	65	6.4
その他職種	33.9	22	11.9
職員総数	576.3	478	98.3

医療安全推進者 18名 (専任・兼任)

感染管理担当者 5名 (専任・兼任)

### 標榜診療科 (2021年5月1日現在)

内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科
糖尿病内科	腎臓内科	腎臓内科(人工透析)	神経内科
心療内科	外科	心臓血管外科	整形外科
脳神経外科	形成外科	精神科	小児科
泌尿器科	眼科	耳鼻いんこう科	放射線科
救急科	歯科	歯科口腔外科	麻酔科
リハビリテーション科			

### 施設基準・承認事項 (2021年5月1日現在)

#### 基本診療科

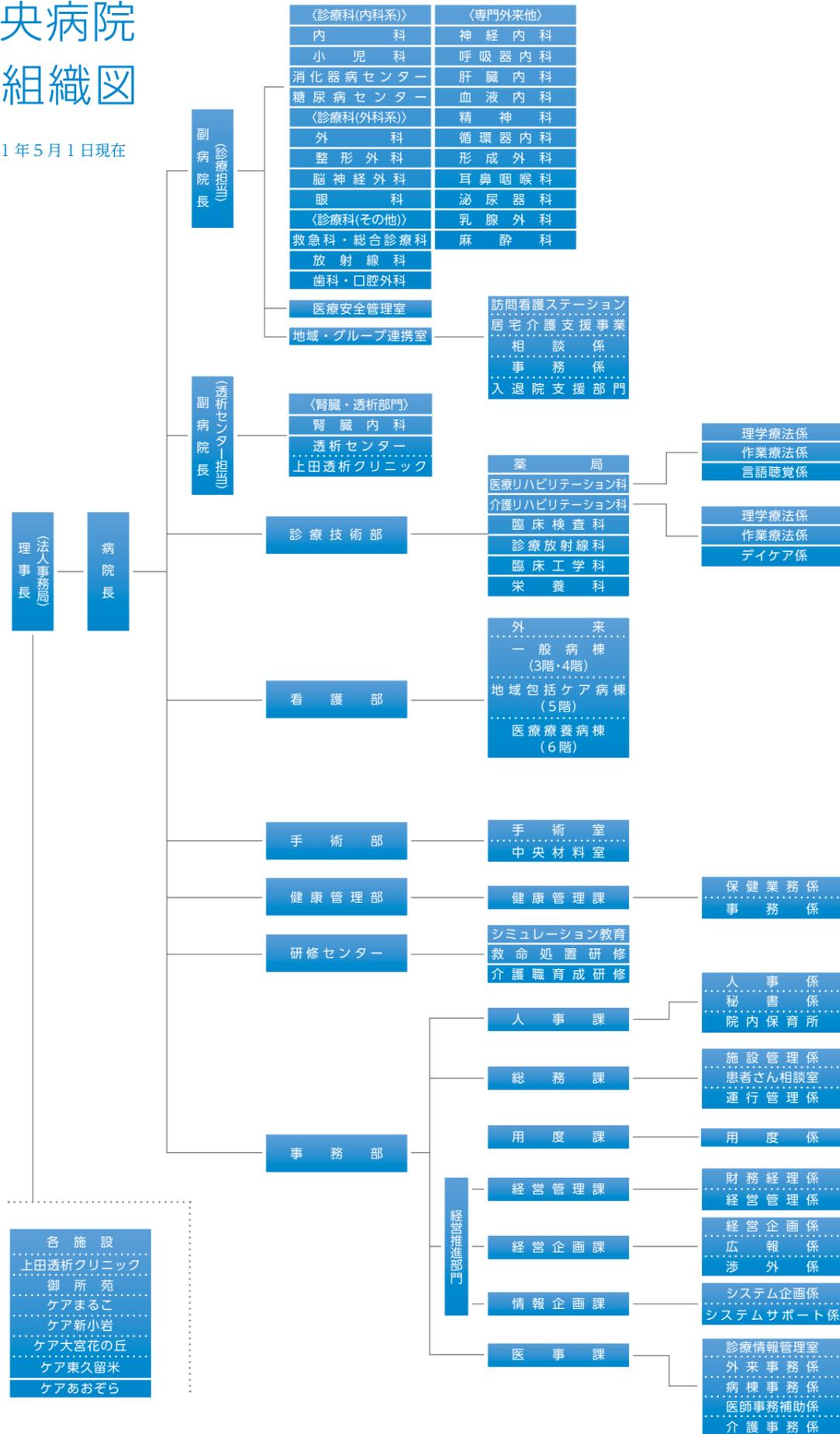
- 歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準
- 歯科外来診療環境体制加算1
- オンライン診療科
- 一般病棟入院基本料 急性期一般入院料1
- 療養病棟入院基本料1
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算1
- 超急性期脳卒中加算
- 医師事務作業補助体制加算1 15対1
- 急性期看護補助体制加算 25対1
- 夜間50対1急性期看護補助体制加算
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 療養病棟療養環境加算1
- 医療安全対策加算2
- 感染防止対策加算1
- 患者サポート体制充実加算
- 後発医薬品使用体制加算1
- 病棟薬剤業務実施加算1
- データ提出加算2
- データ提出加算4
- 入退院支援加算1
- 認知症ケア加算2
- せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 精神疾患診療体制加算
- 地域包括ケア病棟入院料1

#### 特掲診療科

- 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算・歯科治療時医療管理料
- 糖尿病合併症管理料
- がん疼痛緩和指導管理料
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 小児科外来診療料
- 院内トリアージ実施料
- 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1
- がん治療連携指導料
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料1
- 検体検査管理加算(Ⅰ)
- 検体検査管理加算(Ⅱ)
- 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- 神経学的検査
- コンタクトレンズ検査料1
- 画像診断管理加算1
- 画像診断管理加算2
- CT撮影及びMRI撮影
- 冠動脈CT撮影加算
- 心臓MRI撮影加算
- 小児鎮静下MRI撮影加算
- 無菌製剤処理料
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 歯科口腔リハビリテーション料2
- 口腔粘膜処置
- レーザー機器加算
- エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)
- エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)
- 人工腎臓 慢性維持透析を行った場合1
- 導入期加算1
- 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- CAD/CAM冠
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
- 輸血管理料Ⅱ
- 輸血適正使用加算
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 麻酔管理料(Ⅰ)
- クラウン・ブリッジ維持管理料

# 丸子中央病院 組織図

部署別 2021年5月1日現在



# 役員

2021年6月1日現在

- |        |          |                  |
|--------|----------|------------------|
| 丸山会    | 理事長      | 丸山和敏 (まるやま かずとし) |
|        | 常務理事     | 長崎信之 (ながさき のぶゆき) |
|        | 法人事務局長   | 田中克典 (たなか かつのり)  |
| 丸子中央病院 | 病院長      | 勝山努 (かつやま つとむ)   |
|        | 副病院長     | 松澤賢治 (まつざわ けんじ)  |
|        | 透析担当副病院長 | 都筑重利 (つづき しげとし)  |
|        | 特別顧問     | 岡元和文 (おかもと かずふみ) |
|        | 顧問       | 松本あつ子 (まつもと あつこ) |

## 診療部

- |             |       |                   |
|-------------|-------|-------------------|
| 医局          | 局長    | 平野賢 (ひらの けん)      |
| 内科系診療部      | 部長    | 杉尾芳紀 (すぎお よしのり)   |
| 外科系診療部      | 部長    | 橋倉泰彦 (はしくら やすひこ)  |
| 内科部         | 部長    | 渡邊光久 (わたなべ みつひさ)  |
|             |       | 松澤賢治 (まつざわ けんじ)   |
|             |       | 加藤裕子 (かとう ゆうこ)    |
|             |       | 小山潤 (こやま じゅん)     |
|             |       | 中島恒夫 (なかじま つねお)   |
|             |       | 沖山葉子 (おきやま ようこ)   |
|             |       | 石川守 (いしかわ まもる)    |
|             |       | 樋口雅隆 (ひぐち まさたか)   |
| 小児科部        | 部長    | 齊間陽子 (さいま ようこ)    |
| 循環器内科部      | 部長    | 平野賢 (ひらの けん)      |
| 外科部         |       | 杉尾芳紀 (すぎお よしのり)   |
|             |       | 住友博輝 (すみとも ひろき)   |
| 救急科・総合診療科部  | 部長    | 岡元和文 (おかもと かずふみ)  |
|             |       | 佐藤貴久 (さとう たかひさ)   |
| 麻酔科 (兼務) 部長 |       | 岡元和文 (おかもと かずふみ)  |
|             |       | 佐藤貴久 (さとう たかひさ)   |
| 消化器病センター    | センター長 | 松澤賢治 (まつざわ けんじ)   |
| 糖尿病センター     | センター長 | 大房裕和 (おおふさ ひろかず)  |
| 整形外科部       | 部長    | 東山祐介 (ひがしやま ゆうすけ) |
|             |       | 鬼丸悠 (おにまる ゆう)     |
| 眼科部         | 部長    | 野原雅彦 (のほら まさひこ)   |
| 脳神経外科部      | 部長    | 塚田利幸 (つかだ としゆき)   |
| 放射線科部       | 部長    | 星野博信 (ほしの ひろのぶ)   |
| 歯科部         | 部長    | 山田哲男 (やまだ てつお)    |
|             |       | 輿水大比古 (こしみず ひろひこ) |
| 手術部         | 部長    | 岡元和文 (おかもと かずふみ)  |
| 透析センター      | センター長 | 都筑重利 (つづき しげとし)   |

## 各部門

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 地域・グループ連携室長 | 高末真知子 (たかすえ まちこ) |
| 看護部長        | 岡部由美 (おかべ ゆみ)    |
| 医療安全管理室長    | 小山潤 (こやま じゅん)    |
| 健康管理部長      | 橋倉泰彦 (はしくら やすひこ) |
| 研修センター長     | 橋倉泰彦 (はしくら やすひこ) |
| 診療技術部長      | 春原勝芳 (すのはら かつよし) |
| 事務部長        | 田中克典 (たなか かつのり)  |
| 事務部次長       | 池内淳子 (いけうち じゅんこ) |

# つながる地域とのきずな ぬくもりある医療の提供

働く職員の多くがこの丸子地域で育ち、幼いころから当院を受診し、地域と共に歩んできました。病院にお越しいただく患者さんの中にも、職員の家族やご近所さんが多く、会話の中には慣れ親しんだぬくもりを感じとれます。今日も病院の中では、地域のみなさんによる写真・作品展示や、コンサートなどが行われています。私たちの役割は、患者さんはもちろん、その先にあるご家族、そして地域住民にとっても“しあわせ”を感じられる環境を提供することです。医療・介護を通じ「この病院でしかできないこと」を探しています。そのために、住民参加の地域医療づくり、そして何より患者さんの意思を尊重できる人材育成を大切に考えています。

## 院内施設紹介

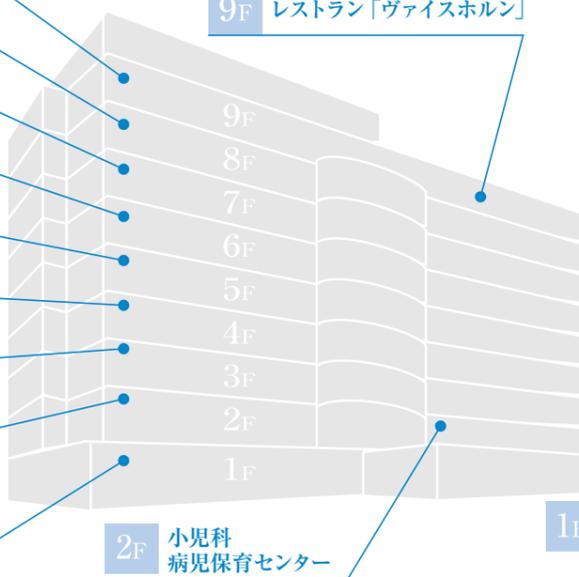
- 9F 人間ドック
- 8F 介護医療院 ケアあおぞら
- 7F 介護医療院 ケアあおぞら
- 6F 医療療養病棟
- 5F 地域包括ケア病棟
- 4F 一般病棟 (外科系)、手術室
- 3F 一般病棟 (内科系)、透析センター
- 2F リハビリテーション科、デイケア 発達外来
- 1F 医療と介護の総合相談ステーション 外来、消化器病センター、臨床検査科、放射線科、ER、薬剤部、栄養科、医事課、売店



### 人間ドック

健康的な生活を送っていただくためにお一人、お一人に合わせた丁寧な説明を心がけています。健診後は、空港のゆったりとしたラウンジをイメージした、9階ドック専用ラウンジでフランス料理の山田シェフによるお食事を提供します。

### 9F レストラン「ヴァイスホルン」



### 医療と介護の総合相談ステーション

「地域医療連携室」「入退院支援室」「医療福祉相談室」「訪問看護ステーション」「訪問リハビリテーション」「居宅介護支援センター」を1か所に集約し、地域住民の方々や患者さん、利用者さん、ご家族等からの医療・介護に関するご相談を一体的にお受けしています。

### 2F 研修センター



### 1F 丸子中央病院保育園 あったかステーション わくわく

### 透析センター



患者さんに安心・快適な環境で治療を受けて頂けるよう、最新の患者監視装置を備え、一人一人のスペースも充実しています。外来での臨時透析や緊急透析にも対応し、関連施設の上田透析クリニックはもちろん、地域の透析医療機関とも連携しています。



### 消化器病センター

特殊光観察(NBI)可能な光源システムを導入し、電子内視鏡スコープを用いた上部消化管内視鏡、大腸内視鏡による観察・精査(拡大内視鏡、超音波内視鏡)が可能です。また内視鏡を用いた治療(EMR、ESD、ERCPなど)を行っており、必要に応じてカプセル内視鏡を用いた小腸検査も施行しています。

### あったかステーションわくわく



内閣府の企業主導型保育事業の制度を利用した保育園です。職員や、地域のみなさんがご利用いただけます。地域で安心してお父さん、お母さんが働き続けられるように、仕事と子育ての両立を支援します。



### シミュレーション教育を中心とした研修体制 ~地域を支える人になる~

当院は「研修センター」を設置するとともに、研修に必要な各種シミュレーターを備えています。

これは、「知っている」と「できる」との間に存在するギャップを埋める教育手法として近年注目されているシミュレーション教育の場を院内外に提供し、地域の医療水準向上をはかるためです。

看護学生、新人看護師だけでなく、再就職者やベテラン職員、医師までがシミュレーション研修に参加し、ともに学びながら「実践力の習得」と「良好なコミュニケーションによるチーム医療」に向けて励んでいます。また導入しているオンラインテキストにより「世界標準」を目指している点は当院の特長と考えています。さらに2014年度からは、新たに介護福祉士向けに介護研修プログラムを開発し、教育機関の支援を受け研修を開始しました。理学療法士、薬剤師などの各職種に対しても「急変対応研修」を実施しています。

これらのシミュレーション研修を「成人教育理論」に基づいて行うために、指導者は米国の指導者研修会を修了しています。



### AHA-BLSコース ~地域の救命率を上げるために~

市民によって心肺停止が目撃された心原性の心肺機能停止傷病者の1ヶ月後社会復帰率は、長野県では6.1%と全国平均7.4%より低い水準となっています(総務省消防庁 平成30年版 救急救助の現況より)。地域の救命率・社会復帰率を上げるためには、医療従事者と共に地域住民への心肺蘇生法の普及・技術向上が欠かせません。

当院では、平成24年よりAHA(アメリカ心臓協会)の公認インストラクター8名を養成し、AHAの最新ガイドラインに沿ったBLS(一次救命処置)コースを上田市内で唯一、定期的に開催しており、近隣医療機関の医療従事者にもコースを開放しています。なお、当院職員は事務職員を含めた全員がBLSコースを受講しており、国内トップクラスの安心できる病院を目指しています。

### PUSHコース

丸子中央病院は、大阪ライフサポート協会と日本心臓財団がすすめる「PUSHプロジェクト」に参加しており、現在12名のPUSH認定インストラクターが活動しています。地域の皆さんには、胸骨圧迫だけの誰でもできる心肺蘇生の体験会を開催し、突然死を防いで地域の救命率を上げる活動を地元の中学校、警察署、一般企業などで開催しています。

### 糖尿病センター・糖尿病療養チーム活動 ~患者さんの心に寄り添う~

丸子中央病院では、糖尿病療養に携わるチーム・委員会が発足しており、専門医1名を含む4名の医師、日本糖尿病療養指導士7名、地域糖尿病療養指導士6名、糖尿病看護認定看護師1名、各病棟・コメディカルスタッフ等より結成され多職種で連携を図り関わらせていただいています。

また、平成4年に発足した糖尿病友の会「やまぶき会」の活動も支援しています。糖尿病はご存じの方もいらっしゃると思いますが、急性期・慢性期の合併症に注意しなければならない病気の一つです。そのため、教育入院の患者さんや外来通院患者さんを対象に年間を通して学習会を行ったり、糖尿病をお持ちでない方にも糖尿病という病気を知っていただくために啓発運動として糖尿病デーのイベントを行ったりしています。

糖尿病患者さんは治療を行いながら生活していく上で、様々な課題と向き合っている生活されていますが、その課題と向き合いながらも病気だけにとらわれず、自分らしく生活ができる様に「もっと健康! ずっと元気! 楽しい糖尿病ライフを送るために」というスローガンをモットーにスタッフ一同協力し、今後も支援させていただきます。



世界糖尿病デー プロジェクションマッピング



### 駅よりバスをご利用の方

- 北陸新幹線・しなの鉄道線 上田駅お城口バス停、  
またはしなの鉄道線 大屋駅バス停より  
千曲バス 鹿教湯線（丸子、鹿教湯方面行き）乗車  
またはJRバス関東 長久保線（長久保行き）乗車

※当院正面入口に「中央病院前」バス停があります。  
※朝、夜1便ずつ、「中央病院前」に停車しないバスもございますのでご注意ください。

### お車をご利用の方

- しなの鉄道 大屋駅から5km（車で約10分）
- 上田菅平ICから浅間サンライン、大屋駅前を通り13km（車で約25分）
- 東部湯の丸ICから県道81号線丸子東部インター線を通り11km（車で約25分）

特定医療法人丸山会



**丸子中央病院**

〒386-0405 長野県上田市中丸子1771-1

電話 0268-42-1111(代表) FAX 0268-42-1112

丸子中央病院  
ホームページ  
<https://maruko-hp.jp>

